

社会福祉法人 アス・ライフ

伝書鳩



2022 新春号

TEL 083-902-6630

FAX 083-902-6664

E-mail : swc-us@wit.ocn.ne.jp

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

皆様には、幸多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は当法人の活動につきましては沢山のご高配を頂き誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

昨年もコロナの影響により外出レクや地域の方々との交流の場が制限され思い通りの活動ができない1年ではありましたが、リモートによる外出レクや施設内でのスポーツ大会、カラオケ大会、夏祭りなど工夫を凝らし、何とか安全に過ごすことができました。今年こそは平常が戻って来ることを期待しています。

また、昨年は1年延期された東京 2020 オリンピック・パラリンピックがコロナ感染防止対策を取りながら開催されました。選手たちから沢山の感動と勇気を頂く事が出来ました。特にパラリンピックでは多様性を認め合う大切さや共生社会の大切さを選手達からのメッセージとして感じ取りました。これから目指さなければならない社会のあり方の転機となる貴重な1年であったと感じています。私もパラリンピックのボッチャ競技の審判として参加し、選手たちの感動を同じ空間で共有することができ大変貴重な体験をいたしました。今年は冬の北京オリンピック・パラリンピックが開催されます。何かと明るい年になって欲しいものです。

さて、今年の干支である寅は十二支の3番目になります。子年に新しい命が種の中で芽生えはじめ、丑年には種の中で育つがまだ伸びる事ができず、そして寅年は春が来て根や茎が生じて成長する時期となり草木が伸び始める状態だとされています。当法人も撒いた種から物事の成長が出来る年になるよう職員一同一つずつ努力を積み重ね目標に向かって頑張る年にしたいと思います。

今年は、「おおいちフォア・アス」の施設増設と「なかぞのフォア・アス」の移転のための土地取得を計画しています。

利用者様のより豊かな人生に繋がる支援になる年にしていきたいと考えます。

本年もどうぞ宜しくご支援ご指導の程、お願い申し上げます。



理事長 藤田 英二



各センターから今年の抱負



○生活介護事業アス・ライフ 管理者 佐々野久男

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の流行で2年間近く、不安と生活不便を強いられる日々でした。

年末には、ようやく感染者が少なくなってきました。緩やかにいろいろな規制が解除されて、日常の活動も活気が出てまいりました。当事業所も感染者を出すことなくデイサービスを平常に続けることができました。これも、皆様からご支援とご協力をいただいた結果だと感謝いたしております。

コロナ禍の中、施設内の活動を盛り上げるべく「アス、ポッチャ大会」を2月と11月に開催し、全員の参加（53名）で大変盛り上がりました。

令和4年は、コロナ感染も完全終息には至らないかもしれませんが、しかしながら、引き続き感染対策を緩めることなく、地に足を確り着け一步一步、前に進み、利用者様やご家族の皆様が安心してご利用できる生活介護・自立訓練事業を推進してまいります。



○就労支援事業 アスワーク 管理者 岡村慎二郎

昨年は、オリンピックイヤーで素晴らしい一年でもありましたが、相変わらずコロナ対策で厳しい年でもありました。半導体不足での減産に伴い受託業務の減収などもありましたが、企業を始め一般家庭、市役所からの環境整備を中心とした請負作業などで多忙さを極めている印象があります。これも発注先か

らの信頼を得るために作業を確実に仕上げる利用者や職員の日々の努力の賜物と考えております。

このような中でも、就職を目指す利用者のために職場実習やハローワークでの職業相談も進めています。アス・ワークとして、昨年も1名の就職者を出すことができました。作業メンバーである利用者が減ることで、請負業務の遂行は益々大変になりますが、企業へと巣立っていく事は最重要目標と捉え、今後も更なる就労並びに定着支援を進めたいと思います。



リンゴ狩り(阿東)



花見(小鯖)



○ 放課後等デイサービスなかぞのフォア・アス 管理者 岩村智子

新年、明けましておめでとうございます。

なかぞのフォア・アスは開所から、14回目のお正月を迎えることができました。

昨年は、新しく1年生、2年生、4年生の子どもたちが「なかぞのフォア・アス」のメンバーに加わり、新型コロナウイルスの対策をしながら、調理実習や、近くの公園へお出かけしたり、工作に取り組むなど楽しく活動しました。

本年度もより一層、幅広い経験を積み、子どもたちの笑顔がたくさん見られるように、職員一同取り組んでいきます。

本年もよろしくお願いたします。



～室内の様子～



～夏休みの思い出～



みなさん
よろしくお願
いします!



～近くの公園で～



～ハロウィンのお面を被って～

○放課後等デイサービスおおいちフォア・アス

管理者 宮崎 美和

あけましておめでとうございます。

おおいちフォア・アスは6回目のお正月を迎えました。開所時に小学1年生だった子どもたちはあつという間に6年生。それと同じく職員も歳を重ねているわけですが、子どもたちの元気なパワーに負けず、職員一同頑張っていきたいと思ひます。

今年も子どもたちの「やってみたい」を大切に、たくさんの経験ができるように支援していきたいと思います。本年もよろしくお願ひいたします。





○放課後等デイサービスみらいフォア・アス

児童発達支援管理責任者 藤本 緩子



新年明けましておめでとうございます。

おおいちフォア・アス 2F (みらいフォア・アス) が開所してから5回目の正月を迎えられたことを大変嬉しく思います。昨年はコロナウイルス感染者数の動向を気にしながら、夏休みには「昆虫王国」や大内の「リフレッシュパークプール」、「萩児童館」や萩の「あそぼ一舎」など、いろいろな場所へ出かけた。秋頃にはウォークラリーやスタンプラリーで近場を散歩したりと、楽しんで身体を動かしています。そのほか、中央消防署の見学、鮎の里での種まきや稚魚へのえさやり、将来に向けた作業体験や作成したリサイクル封筒を福祉団体に寄贈するなど、様々な経験もできました。学校でも校内実習や現場実習、職場体験などを経験し、一回り成長した子どもたちの姿はとても頼もしく感じられました。

先行きが見えないコロナ禍に対応しながら過ごすのも2年近くとなり、消毒をしたり、マスクをしたりする生活に子どもたちも職員も慣れてきた様子です。近頃はかなり感染者数も減ってきていますが、これからも3密の回避や手洗い・消毒・マスクなどの感染対策をしっかりと行い、まだまだ気を引き締めて頑張っていきたいと思います。



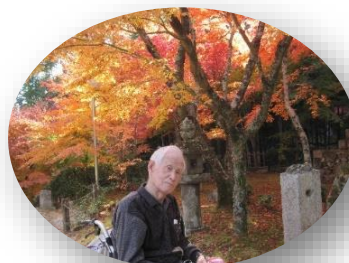
○大市デイサービスセンター 管理者 武安あゆみ

新年あけましておめでとうございます。

コロナの影響は引き続きありましたが、大市デイサービスセンターでは元気に活動を続けることができました。外出レクや夏祭りといった行事も開催することができ、制限された中でも楽しんでいただけたのではないかと思います。

今年も、「大市デイサービスセンターに来てよかった。」「今日も楽しかった。」と言っていただけるよう頑張っまいります。

本年も皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



○アス・ヘルプステーション 管理者 中西愛子

2022年 新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染防止対策として県外からの帰省などを自粛するようお願いするなど、利用者様、ご家族様にはご迷惑とご心配をおかけしましたが、感染者を出すことなく新しい年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

昨年10月には介護報酬が改定されました。訪問介護はコロナ禍の状況や人員確保がなかなか進まないため、人員の確保・拡充につながることを願います。

それぞれの住み慣れた地域で尊厳を保持しつつ必要なサービスが提供されるように、ヘルパー一同努めてまいります。

今年の干支は「壬寅（みずのえ・とら）」です。「」は【動く】の意味で春が来て草木が生じることを表していて、このことから芽を出したものが成長する物事の始まる年とされています。

本年が皆様にとりまして安心できる一年でありますようお祈り申し上げます。



訪問記録などの事務処理



「行ってきます！」近隣は自転車で訪問